

2025年に向けた看護職員の確保

- 地域医療構想の実現を前提とした2025年(令和元年11月15日国報告)の需給推計値は、ワークライフの充実も加味した需要181,147人に対し、供給160,312人。20,835人の看護職員不足が予測される。
- 2025年の高齢化率は23.0%(平成31年3月統計局推計値)。特に、地域の介護・福祉分野での看護職員がより一層求められる。

ライフイベントに応じ、多様な職場でキャリアを継続することができるよう、看護職員を支援

ライフイベント 結婚・出産・育児・介護 等

看護学生

就職

新人期

中堅期

ベテラン
看護管理者

①新規養成

②定着促進

④定年後に向けての
就業支援

③復職支援

都内就業者数を
増やす

離職率を下げ、
定着を図る

再就業を支援し、
潜在化を抑制

プラチナナースの
活用促進、
生涯就業期間を長期化

2025年の地域医療構想の実現に向けた看護職員の充足